

第63号

発行日 平成27年10月1日
発行 星が丘地区社会福祉協議会
相模原市中央区星が丘3-1-38
星が丘公民館内
TEL042-755-9955
編集 広報紙編集委員会
館区内人口 17,293 (男 8,665 人 女 8,628 人)
世帯数 7,425 (平成27年8月現在)
ホームページ <http://www.sagami.com/hp/dut10086/>

まごころ



歌を披露する園児達 パルロ

千代田二丁目にある千代田デイサービスセンターでは、4月、8月を除く毎月2回、利用者の方々と星ヶ丘二葉園のかなりや組(年長)の園児達との交流が10年以上続いています。

お年寄りとお園児の交流会

取材に訪れた7月2日は、園児10名と先生2名がやって来ました。園児達が「よろしくお願ひします」と元氣にあいさつをすると、40名近い利用者のみなさんから温かい拍手で迎えられました。

司会の職員から1人ずつ名前を聞かれた時は緊張した様子の園児達でしたが、コミュニケーションロボット「パルロ」の登場が緊張を和らげてくれました。パルロは千代田デイサービスに来てこの日が二回目でした。パルロがみなさんに向かって「はじめまして」と話すと園児達からも「はじめまして」とパルロに応えていました。パルロが「浜辺の歌」を歌うとみなさんも一緒に口ずさみ、一気にその場の雰囲気は和やかな空気に包まれていきました。



完成した七夕飾り

この日はもうすぐ七夕ということ、利用者のみなさんと園児達が一緒に短冊に願ひ事を書くため、園児達はおじいちゃん、おばあちゃんの隣に座まりました。初めは恥ずかしそうにしていたが、次第に楽しそうに会話している姿も見られ、出来上がった短冊は大きな笹に飾られました。

園児達との交流は自然と表情が緩んで癒されている様子でした。誰もが「可愛い」「ひ孫のようだ」とおっしゃっていました。

短冊が飾られた後は、園児達がお礼に「七夕」を歌い、利用者のみなさんも手拍子しながら一緒に口ずさむ方もいました。

最後に園児達は、大きな声で「どうもありがとうございました」とあいさつをし、お互いに「バイバイ」と手を振ったり、手と手をタッチしたりと、笑顔でお別れしました。

12月の交流会は、保育園の発表会で歌う歌や、ハーモニカ演奏が披露され、1月には、かるたやおはじきなど伝承遊びを楽しもうです。また、職員が中心となりみんなで楽しめるゲームをする事もあります。

こうした世代間交流は、お年寄りは元氣をもらい、子どもの笑顔に癒され、子どもも思いやりや優しさが身に付き、情操教育にもなるのだと感じました。

敬老事業の実施

相模原市から88才と100才の方にお祝い金、星が丘地区社協から77才以上の方に菓子や民生活員が配布しました。袋にお菓子と敬老会、運動会のお知らせのパンフレットも入れました。

二つの敬老事業を紹介します。

1 敬老会 (77才以上の方対象)

○10月4日(日)

10時～ 千代田7丁目自治会館
14時～ デイサービス「やよい」
(千代田2丁目)

歌・踊り・・・「遊楽会」
落語・・・山笑亭 可女次

○10月12日(月)

10時～ 星が丘公民館
歌・踊り・・・「遊楽会」
落語・・・春風亭 正太郎



昨年の敬老会の様子

2 高齢者顕彰事業表彰式予定

10月25日星が丘地区ふれあいフェスティバルの会場にて、「地域貢献活動が顕著であった高齢者に対し顕彰や感謝の意を表する」顕彰を行う予定です。

子どもが変わる! お母さんも変わる!

<0歳からの子育て支援事業>

- ★園庭開放 (毎週 月・水・金曜日 10時～正午)
- ★おひさま教室 (月1回 土曜日実施の親子教室)
- ★ひよこ教室 (5月より翌年3月まで。週1回の未就園児教室)

“心”と“学び”の育ちを大切にする

星が丘幼稚園

042-752-4842
相模原市中央区星が丘3-5-10
<http://www.hoshigaoka.ed.jp/>



本紙をメールマガジン登録用QRコード





平成 27 年 6 月の夜間防災訓練 (左・心肺蘇生・AED 講習、右:放水訓練)

所定の用紙の一部

支援が必要な理由 (口)にチェックしてください	☐ 高齢のため	☐ 介護を受けているため	☐ 障害があるため
	☐ 昼間 (時～ 時) 一人のため	☐ 夜間 (時～ 時) 一人のため	
	☐ その他 ()		
氏 名			性 別
			男・女
住 所	相模原市中央区		生年月日
			大 昭 平
			年 月 日
電 話 番 号	自宅電話	— —	年 齢
	携帯電話	— —	
	その他緊急連絡先	— —	歳
特記事項	今回の事業に参加を希望するにあたり、上記項目以外で事前に伝えておきたいことがある場合は、下記に口)にチェックをつけ、必要なことがありましたら記入ください。		
	☐ 目 (視覚の障害) について (口)目が見えない (口)見えにくい		
	☐ 耳 (聴覚の障害) について (口)耳が聞こえない (口)聞こえにくい		
	☐ 話すこと (言語の障害等) について (口)言葉が出ない (口)言葉を発しにくい		
	☐ 特注事項 (口)車椅子使用 (口)つえ使用 (口)歩行器使用		
	☐ その他 (身体状況や疾病の有無) について ()		

『いざ』という時、

頼れるのは近所

災害時たすけあい事業

災害が起こった場合、自助・共助・公助と言われておりますが、近所の助け合いによって人的被害の減少に繋がっている情報を耳にすることがあります。星が丘地区では地域活性化事業交付金を使い、平成27年度より災害時たすけあい事業が全ての自治会でスタートしました。

事業内容は、あらゆる災害時 (地震・強風・大雨・大雪等) に、支援者 (近所の人) は自分や家族等の安全を確認後、要支援者 (支援を受ける人) の安否確認を行い、救助・救護等が必要な場合は自治会長や民生・児童委員、自主防災隊に連絡し、現地対策本部や近所の方々の力を借りて必要な処置を行う事により、人的被害を最小限にしようとするものです。

申し出は星が丘公民館内にある地区連に所定の用紙がありますので必要事項を記入し提出します。なお、年齢や家族構成等の制限はありません。自分の体や家族環境等に変化があり不安を感じた時には申し出て下さい。受付は随時行っています。

地区連は受付けた情報を該当する自治会に連絡をします。自治会は要支援者に対して複数の支援者を選考、決定し、要支援者に通知します。

その後、支援者と要支援者は顔を合せを行い信頼関係を築いていきます。支援者になる人は、自治会からの依頼によって引き受ける方や自ら手を上げて頂いている方々です。

出来る時に出来る人が行く近所のたすけあい、多くの人が支援者となつて『いざ』という時、被害者を出さない安全安心な地域を一緒に作っていきましょう。

支援者なつて頂ける方は、各自治会長や地区連まで連絡下さい。

星が丘地区自治会連合会事務局
042 (755) 9955

災害時たすけあい事業のフローチャート

災害時に不安を抱えている人

要支援者申込み書を地区連に出す

該当する自治会に支援者の選考を依頼

複数の支援者が決定される

要支援者と支援者の両者に通知される

両者が顔を合せを行い信頼関係を築く

『いざ』という時、頼れるのは近所

非常持ち出し袋



昨年のバザー商品の精算を待つ人達

第29回

福祉バザー

10月25日(日)開催

今年の福祉バザーは、10月25日 (日) 星が丘小学校校庭にて星が丘地区ふれあいフェスティバルと同時に開催となります。

バザーは毎年、各自治会を通して地域の皆様からたくさん品の品物を提供していただいております。

今年もご協力をお願い致します。詳細は各自治会の回覧でお知らせします。

なお、提供品は10月16日 (金) までに各自治会の担当者へお渡しいただくか、10月17日 (土) 9時から17時の間に直接、星が丘地区社協 (公民館) へお持ち下さい。

当日は、地域の皆様お誘い合わせの上、ステージ上のパフォーマンスを楽しみ、模擬店で美味しいものを召し上がり、バザーで掘り出し物を見つけないで下さい。

バザーの収益金は、星が丘地区社協の福祉事業に役立たせていただいております。



電気設備・設計施工

(株)成川電興

代表取締役 成川 紀生

相模原市中央区横山3-30-15

TEL 042(755)2556

FAX 042(755)6127

総合福祉の

たんぽぽグループ

「人とのふれあい」「手厚い介護」「安心感」をテーマにした総合福祉グループです。

居宅介護支援事業所たんぽぽ

訪問介護ステーションたんぽぽ

デイサービスセンターたんぽぽ

グループホームたんぽぽ

～介護に関する相談を受け付けています～

〒252-0237 相模原市中央区千代田 7-13-13

☎042-786-2343



社会福祉法人

相模福祉村

高齢者支援、障がい児・者支援
子育て支援などの福祉活動

☎ 042-761-7788

相模原市中央区田名6769番地

星が丘地区いこいの広場 赤ちゃんからお年寄りまで楽しんでいます

星が丘地区いこいの広場は平成25年11月開設以来、23回実施して延べ千人以上の方が参加しています。

当「いこいの広場」は星が丘地区及び近隣にお住まいの「赤ちゃんからお年寄りまで」あらゆる世代が集える憩いの場・交流の場です。原則として毎月第4日曜日の昼間、星が丘公民館を会場とし気軽に参加いただけます。

実施内容としては、趣味のコーナーと食事喫茶のコーナーがあります。

趣味のコーナーで特に女性に人気があるのは、折り紙・編み物です。子ども達はパズル・将棋・輪投げなどのゲームを楽しんでいます。

食事喫茶コーナーは値段が安くて美味しいと皆さんから喜ばれています。特にその日に大量に作るカレーとその場で入れるコーヒ―は人気で、地区内はもとより上溝や下九沢からこの日を待つて来られる方もいます。

夏の期間はかき氷もやっていて、子ども達は好きなシロップを容器に入れ、機械を操作して盛り付け、自分だけのかき氷を作って楽しんで食べています。

この広場の運営は全員ボランティアで行っており、お客さんから帰りに「美味しかった。また来月きます」という声を頂くだけで疲れが吹き飛びます。あなたも一度足を運んでみては如何ですか。



食事を楽しむ皆さん

いこいの広場開催内容

- 1 開催日 原則として毎月第4日曜日(地域情報紙などで確認して下さい)
- 2 会場 星が丘公民館
- 3 内容 趣味のコーナー
10時〜12時
折り紙・編み物・パズル・将棋等
- 4 参加 なたでも参加出来ます
11時〜13時
カレー・ピザ・コーヒ―・ジュース等

食事・喫茶コーナー

その他の地区のいこいの広場	
千代田いこいの広場	第2金曜日
横山いこいの広場	第2水曜日
千代田7丁目自治会館	10時〜13時
横山集会所(横6)	10時〜12時

備えあれば憂い無し 星が丘防災スクール開催

夏休み真最中の8月6日(木)、地区内の小中学生を対象に第3回星が丘防災スクールが開催されました。

「いざ」というときに活躍できる力が身につく！」をスローガンに、相模原市赤十字奉仕団と相模原市消防局相模原消防署緑が丘分署の関係者を講師に半日間のスクールでした。

内容はAED講習、ロープワークでブルーシートによる簡易テント作り、起震車による地震体験など。私もAEDの使い方には真剣に聞き入ってしまいました。最近あちこちに設置しているAED、その重要な役割をやっと理解することができました。

3・11東日本大震災以来、防災に対する意識が格段と高まりました。参加した子ども達とそのご家族は改めて防災の大切さを再認識されたことと思います。

これから未来のある子ども達に災いが少ないことを望むばかりの1日でした。



起震車による地震体験

クールシェア茶話会を開催

8月28日(金)、クールシェア茶話会と称して「みんなの集い」が開かれました。会場は公民館大会議室です。部屋には机とイスが配置され、机の上にはお茶菓子が、そしてコーヒ―やかき氷が無料で提供されています。フリーマーケットも開かれ、自由に持ち帰りできるコーナーもありました。掘り出し物を見つけては自慢する姿も見られます。

折り紙を折ったり、星が丘地区紹介DVDを見たり、久しぶりに会った人と会話を楽しんだり、充実した2時間でした。

これから「みんなの集い」が「みんなが気軽に集える場所」になるようにしていきたいと思っています。

折り紙とフリーマーケットを楽しむ皆さん

赤い羽根募金にご協力を

10月1日から赤い羽根募金が始まります。本年もご協力をお願いします。



昨年の募金の様子

11月7日(土)みんなの集い

フリーマーケットも開催されます。どうぞ、お楽しみに。

会場 星が丘公民館
時間 10時〜12時

※詳細は地域情報紙にて

ご葬儀のことなら 安心納得価格保証



〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-15-4 スターヒルズMTビル3階
TEL: 042-786-0301 FAX: 042-786-0302
ホームページ: www.yoisougi.com

三井メモリアル株式会社

明王茶園

お菓子を どうぞ！

- かりんとう 饅頭
- 健康 ごま飴
- たらふくまんま
- 野菜せんべい
- 寒天氷もち
- 寒天ゼリー



皆さんと 楽しくお茶を飲み合えるお店

お茶を どうぞ！

- 美味しい 煎茶
- 炊き立て香り ほうじ茶
- 深蒸し 煎茶
- 抹茶入り くき茶
- 抹茶入り 玄米茶
- まろやかな かりがね茶

明王茶園 伏屋

相模原市中央区千代田2-5-10

TEL042-753-4044

シリーズ サロン紹介

今回からは、星が丘地区社協で支援している高齢者の交流・憩いの場の「いきいきサロン」（4団体）と、親子で集える場としての「子育てサロン」（3団体）を順次紹介してまいります。皆さんもこの機会にサロンに参加されることをお勧めいたします。

ひまわり会いきいきサロン

（千代田2）

ひまわり会いきいきサロン（会長 高橋芳一）は平成15年2月に立ち上げてから、既に12年が経過しています。

発足にあたって、市社協から地域福祉の充実を図る一環として「いきいきサロン」の立ち上げの説明がありました。

それを受けて町内有志で会合を重ね、2丁目には既に70歳以上の方を対象に「ひまわり会」という団体がありましたので、サロンにはスムーズに移行でき、2丁目の住民なら年齢に関係なく自由な参加での発足となりました。なお、特徴的な点として、副会長二人の内一人は自治会長になっていただいていることと民生委員の方がお手伝いに来ている事です。サロンの設立目的は、家に閉じこもらないで気軽に出かけて仲間とお喋り、お茶飲み、カラオケなどで楽しく過ごせる場、そして心の通じ合える豊かな地域づくりを目指すものです。

現在は、毎月第一月曜日の13時から自治会館に自主的に15名位集まり、その都度百円の会費で活動しています。内容はお茶を飲みながらの雑談や人気のカラオケで声を出し、明るい話題があればその場で発表したり、防犯の話題等々です。



ひまわり会いきいきサロン参加の皆さん

「みんなカフェ」

若葉まつりに出店

5月10日（日）の若葉まつりに平成23年から星が丘地区で活動している「みんなカフェ」（星が丘地区の女性民生委員が中心の団体）が初出店しました。

内容は、入れたてのコーヒー・紅茶に、福祉団体「パステルファーム」「きらら」の煎餅・クッキーと、札幌の就労移行支援事業所「ハピネスロード」の手作りのバック・小物入れ・コースター等を販売しました。また、当地区内の「陽だまり」「創造舎」の作業所紹介・活動のパンフレットも配布しました。

煎餅・クッキーは大変評判が良く完売となりました。

収益金は「情熱のピラミッド基金」（市内児童養護施設の子どものための進学の為の基金）に寄付をしました。

「みんなカフェ」はコーヒーを飲みながら縁側でくつろぐ様なカフェになりたいと思っています。星が丘地区ふれあいフェスティバルにも出店しますのでぜひお立ち寄り下さい。



「みんなカフェ」の仲間たち

「いいの広場」担い手研修会の実施

「人と人がつながりを持って、皆が安心して暮らせる社会」を実現するため、星が丘地区社協では三つの「いいの広場」を開設しています。

平成25年11月星が丘地区いいの広場、26年3月千代田いいの広場そして27年3月に横山いいの広場を順次開設いたしました。

これらの広場は、約60人のボランティア（担い手）で運営され、利用者の皆さんから大変感謝されています。

この広場の運営を更に充実向上させ、利用者の皆さんに喜んでいただくことを目的にして「いいの広場」担い手研修会を実施します。

11月19日（木）に小田原市社協の「ふらっとマロニエ」にて活動を見て研修をします。

なお、これらの広場の運営にかかると男女のボランティアを募集しています。お手伝い頂ける方は星が丘地区社協事務局までご連絡下さい。

地区社協事務局紹介

櫻村 久美（継続）
倉島 勝 治（新任）
渡辺 薫（新任・市社協）
今後とも宜しくお願いします。

楠野 睦 子（退任）
岩田 久美子（退任・市社協）
お疲れ様でした。

編集後記

「まごころ」編集委員になって、早くも半年になります。季節の花も桜に始まり、アジサイ、ヒマワリ、そして早くも高山では紅葉と移り変わっています。私も一編集委員として委員の皆さんに溶け込み、移り変わる花のようにどんな記事でも担当できるように頑張っていきたいと思っています。（T・T）

いつまでも住み慣れたところで暮らしたい。
在宅介護ひとすじ、「千代田」で17年やってきました。

■千代田デイサービスセンター
042-751-0672

■ヘルパーステーション千代田
042-704-0261



「親切な職員と美味しい食事」が合言葉。365日営業しています。

70名のホームヘルパーが訪問活動をしています。介護保険法、総合支援法に対応しています。

いつでもヘルパーさん募集中！



バルロもいるよ。

■千代田介護支援センター
042-704-0281

6名のケアマネジャーが介護の相談、介護プランの作成にあたっています。

■千代田相談支援センター
042-707-1434

障害のある方の介護サービス等の利用計画を作成します。



10月25日。今年も星ヶ丘フェスティバルに「うどん屋さん」を出店します。売上金は毎年震災被災地に送っています。



社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1
www.yuhokai-kaigo.com